

大阪代協だより

Web版



INDEPENDENT INSURANCE AGENTS OF OSAKA INC.

■発行者
一般社団法人 大阪損害保険代理業協会
会長 山中尚
大阪市北区梅田1丁目2番2-1400
大阪駅前第二ビル14-1-2
TEL06-6341-6085
■大阪代協ホームページ
<http://www.osakadaikyo.or.jp>



われわれは、次の募集規範を遵守し、消費者の利益に貢献します。

- 倫理規範 ①社会性・公共性の自覚 ②自己研鑽 ③信義・誠実性 ④信用の維持
●行動規範 ①重要事項の説明 ②最適アドバイス
③アフターサービス・アフターフォロー ④顧客情報の守秘 ⑤法令の遵守

理事会だより

～6月度理事会の報告事項です～

- ① 日本代協アカデミーの無料お試し登録が済んでいない方は是非登録をお願いします！

社員教育は保険代理店に課せられた体制整備義務のひとつです。対応を検討されている方は是非ともご活用下さい。

P, 5に大阪代協 HP 該当ページにリンクするQRコードを掲載しています。是非ご覧下さい。

- ② ぼうさい探検隊の取組を推進しましょう！

小学生と大人が一緒になって、危険を確かめ、安全な街、安全な社会を作る取組です。是非とも全国マップコンクールに応募しましょう。

P, 5に大阪代協 HP 該当ページにリンクするQRコードを掲載しています。是非ご覧下さい。

- ③ 国民年金基金取次業務の事務要領が決定しました！

取扱事務要領を大阪代協HPに掲載しました。紹介料が受け取れるのは大阪代協会員だけの特典です。積極的に取組下さい。

P, 5に大阪代協 HP 該当ページにリンクするQRコードを掲載しています。是非ご覧下さい。

(記事：吹原事務局長)



HPが新しくなりました。
・支部会・お知らせ・活動報告・セミナー案内・などなど
HPでチェックしてね！

7月の予定

10日(水)	無料法律相談	(大阪代協 会議室)
11日(木)	CSR委員会	(大阪代協 会議室)
17日(水)	理事会	(大阪代協 会議室)
17日(水)	支部交流会	(大阪代協 会議室)
22日(月)	御堂筋CE事前会議	(大阪代協 会議室)
26日(金)	阪神ブロック協議会	(大阪代協 会議室)

2019チャレンジ50

6月度ご入会の会員の皆様です。

どうぞ宜しくお願いします。

所属支部	代理店名(敬称略)	代申会社
東	コア・ライブプランニング	東京海上日動
京阪東	サンマイル	S J N K
船場	ドリームクロス	AD
船場	相互住建	AD
東大阪	八戸ノ里保険事務所	S J N K
東大阪	野口自動車	東京海上日動
堺	inego	三井住友海上
和泉	モービルオート	S J N K

6月は8店の仲間が増えました\(^o^)/

☆☆ 今後のセミナー情報 ☆☆

みんなで勉強し、研鑽を積みましょう！！

- ◆7月11日(木)15:30～ @堂島関電ビル
「サイバーリスクと企業防衛」 問合せ：東支部
- ◆7月12日(金)16:00～ @三井住友海上odonaビル
「働き方改革実践対応」 問合せ：船場支部
- ◆8月 7日(水)13:30～ 大阪代協オープンセミナー
「強みの経営スタイルを学ぶ」@毎日新聞オーバルホール
※申込等リンク先QRコードはP, 5に掲載中！

☆☆ 体制整備情報 ☆☆

「森の賢者 ふうたのワンポイントレッスン Part4」
Vol. 3が配信されました。今月は「募集行為」と「募集関連行為(従事者)」に関する注意点がテーマです。
是非事務所内の皆様でご一読下さい。

～自然災害対策セミナー～2018年度広域災害の被害と対策について～

大阪・損害保険トータルプランナーの会 総会・セミナーを開催しました



令和元年6月24日(月)第5期大阪・損害保険トータルプランナーの会総会を大阪代協会議室で行いました。

15時より由良幹事の司会により総会開催宣言され、山中会長が挨拶。付議事項として①2018年度活動報告 ②会計報告 ③2019年度活動報告及び2019年度予算案が提案され、全会一致で承認されました。

15時45分より門口幹事によるセミナー開催の案内と来賓の紹介が行われ、一般社団法人

日本損害保険協会近畿支部事務局長 小峯 雅也様(写真下)からご挨拶を賜りました。

その後、「自然災害対策セミナー～2018年度広域災害の被害と対策について～」と題して、講師に 東京海上日動 関西損害サービス第二部 火災新種損害サービス課 課長代理 北原 聖宣氏と大阪北支店 北摂支社 牧野 祐衣氏(写真左下)を迎え講演をいただきました。



北原氏からは、・火新分野における損害、保険請求は多様化して

きており、初動が大切

で、お客様との接点として、携帯電話やSNS、FAXなどを使用しての密な関係を構築しつつ、対面力の向上が欠かせない。

・大阪は昨年の地震、水災、台風と甚大な被害が発生しましたが、引き受け誤り(所有者が亡くなられているのに変更されていない、構造級別が違う等)が多くあった。

・補償対象外の被害がありお客様とのトラブルになっているケースもあった。

・台風による損害では複数回に分かれて保険金請求が行われ、その都度損害の範囲の認定に困難が生じる。賠償事故については、状況が様々であり賠償責任の有無については認定が大変難しいことなどを説明いただきました。やはり、引き受け時には、現物の確認や継続的な契約内容確認が大切です。

牧野氏からは、事故の際には、いち早くお客様とのコンタクトを取り、安否確認、保険事故の有無などの情報収集が大切であり、平時からBCPを作成し、災害時の対応マニュアル構築と訓練が大切である、とお話をいただきました。

セミナー終了後、有志による懇親会が講師2名を含めて行われ、セミナーで質問できなかったことなどへの回答を含めて忌憚なくお話していただき、大いに盛り上がりました。

総会参加者25名、セミナー参加者40名、懇親会参加者は19名でした。

(記事：大阪・損害保険トータルプランナーの会 山本幹事)

～とっても怖い『接続問題』～

北摂東・北摂西 合同セミナーを開催しました



令和元年6月21日(金)、大阪代協会議室において、北摂東支部と北摂西支部の合同支部会を開催しました。両支部は来年度の合併を見据え、本年度は合同で支部会を開催しています。

第1部の会議では大阪代協各委員会に参加している委員から、それぞれの委員会報告が行われました。

第2部ではセミナーを実施。ご自身も代協会員である株式会社ウインライフの小野力(おのつとむ)氏を講師に迎え、「賠償責任保険 請求ベース約款と事故発生ベース約款」をテーマ



に講演を頂きました。

過去に請求ベースの保険から発生ベースに切り替えた医師が、8,500万円の賠償金が保険から支払われず自己負担した事例を紹介し、4つの切り替えパターン(発生→発生、発生→請求、請求→請求、請求→発生)別に注意点を教えて頂きました。



支部会終了後は近くの飲食店に会場を移し、支部会員相互の親睦を深めました。

(記事：北摂東支部 辻副支部長)

～安藤百福氏の『食』への思い～

南大阪支部 カップヌードルミュージアム見学会



令和元年6月14日(金)、外部研修会として『災害時の非常食のルーツを学ぶ。インスタントラーメンの歴史と製麺体験』と銘打ち、池田市のカップヌードルミュージアム大阪の見学会を開催いたしました。

インスタントラーメンは今や国民食といっても過言ではありません。館内には、その発明から現在に至るまでの進化の過程や故安藤百福氏の足跡が、日清食品のたくさんの商品とと

令和元年 7月号

もに所狭しと展示されています。安藤氏がその前身となる組織を立ち上げ、日清食品も加盟する現在の(社)日本即席食品工業協会の加盟各社は、協力して災害や飢餓への食糧援助を行っています。その他にも、日清食品は独自で地方自治体等と協定を結び、様々な災害に際しての「食」での援助を約束しています。関西でも阪神淡路大震災の際に、カップ麺100万食を緊急援助しています。



現在は世界的に展開するその支援活動ですが、その始まりは安藤氏を見た戦後の焼け野原の光景にあります。食料に不自由し、1杯のラーメンを求めて行列する栄養失調の人々を見た安藤氏は、「食」こそが全ての原点であり、満腹になればきっと心も

豊かになる、と思い立ちます。そこから始まる安藤氏の仕事に取り組む姿勢は数々の金言として残っており、それは災害時に真価を発揮する私たち保険代理店にも多くの点で通じる所があり襟を正す思いでした。



今や災害時の緊急食としては欠かせないインスタントラーメンですが、その美味しさと便利さを確立した工程を実感するという目的で、チキンラーメンの製麺体験に参加しました。粉を混ぜるところから始まり油で揚げ、袋麺として完成するまで様々な技術と工程を行うことで、単なる保存食ではなく高い技術に裏打ちされた、身も心も満たす《食》なのだ改めて実感しました。



(記事：南大阪支部 内川記者)

セミナーの後は懇親会となりました。中華料理を堪能し、良い暑気払いとなりました。

～美味しく楽しい大満足の見学会～

北大阪・京阪西・京阪東合同 アサヒビール工場見学会



梅雨入り間近の令和元年6月11日(火)、北大阪支部、京阪東支部、京阪西支部合同で、アサヒビール吹田工場の工場見学会を開催しました。アサヒビール吹田工場はアサヒビール発祥の地として当時の建物の一部はモニュメントとして残されていて、全国から大勢の方が工場見学に来る人気の観光名所です。この日も駐車場には地方ナンバーの観光バスが停車し、大きなキャリーバッグを持った外国人の方達で賑わっていました。



まずスーパードライ誕生の物語と現在も進化し続ける生産技術をスクリーンで鑑賞して、次に創業当時の写真と工場の模型のある部屋を経て、主原料のホップと麦芽の実物に触れ、麦芽は試食もさせてもらいました。

その後は生産工程、発酵～熟成～濾過から瓶詰め、缶詰工程を見学。1分間に1500缶、24時間稼働で年間では15億本出荷というそのスピードにはただただ圧倒されました。機械が狂いなく働くだけではなく、最終的な品質は人間の五感を使って官能チェックを行っ

ているということで、スーパードライ独自の味とキレにはやはり人の力も必要なのだと知ることが出来ました。

そして見学が終わったら、いよいよお楽しみの試飲体験。まずはキンキンに冷えたエクストラコールドで乾いた喉をすっきりと潤し、お代わりはスーパードライ以外にブラックも選べて一人2杯まで。おつまみも用意されていてすっかり宴会モードに。この日一番の盛り上がりでした。こうしてあっという間の90分は勉強になるだけでなく、とても美味しく楽しい体験ができる大満足の工場見学会でした。



(記事：北大阪支部 有澤副支部長)

<大阪代協ホームページリンクQRコード>

<p>日本代協アカデミー</p> 	<p>ぼうさい探検隊</p> 	<p>国民年金基金</p> 
<p>大阪代協オープンセミナー2019</p> 		

《体制整備の豆知識Part 4》 2019. 6. 24
ふうたのワンポイントレッスン Vol. 3 **募集関連行為**

＜会員の皆様には本文を送付済みです。著作権の関係でホームページ掲載用は内容を割愛しています＞
文責：日本創倫株式会社 専務取締役（SEO）オフィサー事業部長 風間利也 配信：日本代協事務局

以上